

ジンチョウゲの育て方

育てやすさ：★★★☆☆ ふつう

日当たり：半日陰～日向

花が咲くまでの年数：1～2年

株を健全に育てるには

半日陰～日向で育てる

庭植えの場合は水はけのよい場所に植える

日当たりがよい方が花がたくさんつく

植え替えの適期 3～4月、9月

用土 赤玉土（中粒）：完熟バーク堆肥：軽石・川砂=5：2.5：2.5

※園芸用培養土で代用も可能です。

庭植えの場合

①幅・深さとも根鉢の1.5倍ほどの大きさの穴を掘ります。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を軽くくずします。

③木の根元が地表より数cm高くなるように穴の底に用土を入れ、穴に水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。水を与えると株が沈むので、最初は高めに植えます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

※水はけが悪い場所では植穴の底に5cmほど砂利を敷いてから植えます。

鉢植えの場合

2年に一回程度植え替えてください。

①根鉢より1回り大きい鉢を用意します。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を軽くくずします。

③鉢に用土を入れ、株を据えたら、水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

水やり 過湿を嫌います。庭植えは真夏に土がひどく乾いたらたっぷりと与えます。鉢植えは土の表面がよく乾いたらたっぷりと与えます。（真夏は2～3日に1回）

肥料 冬に油かす・完熟堆肥・腐葉土などの有機肥料を寒肥として根元に施します。追肥は春と秋に緩効性化成肥料（N・P・K=10-10-10など）を施します。

剪定 花の後、一か月以内に混んだ枝を間引いて樹形を整える程度に軽く剪定します。

※剪定の時期が遅くなると翌年の花がつきません。

病害虫

過湿になると白絹病やウイルス病を発症します。

白絹病

症状：葉が縮れて、落葉します。根元に白い菌糸が発生して幹が変色して腐ります。

予防：水はけのいい土を使い、風通しのいい場所で育てます。

対処：リゾレックス水和剤などを散布します。

ウイルス病

症状：葉にモザイク模様が出ます。生育が悪くなり、枯れることもあります。

予防：アブラムシが媒介するので除去します。

対処：発病した場合、適用薬剤はありません。

疫病菌による根腐れ

症状：葉がしおれて、枯れます。

予防：水はけのいい土を使い、風通しのいい場所で育てます。

対処：発病した場合、適用薬剤はありません。

黒点病

症状：葉に黒い斑点が出て、落葉します。生育が悪くなり、枯れることもあります。

予防：風通しのいい場所で育てます。

対処：発病した葉や枝、花、落ち葉を取り除き、ストロビー、トップジンM、マネージなどの薬剤を散布します。

※薬剤散布に際しては必ず商品の説明をよく読み、記載内容に従って正しく安全に使用してください。